

プレスリリース  
報道関係者各位

2015FY015  
2016/3/10  
「新しい東北」官民連携推進協議会

## たむらご当地スイーツ『北醇』<sup>ほくじゅん</sup>首都圏にて初の試験販売 リコージャパンとの協力（第1弾）として3.11 同本社にて

福島県田村市の生産者、直売所、飲食店から構成される「田村市ご当地グルメプロジェクト」（代表：箱崎哲司）は、本年3月1日に発表した「たむらご当地スイーツ『北醇』」を3月11日（金）午前11時30分から午後1時30分（予定）にかけてリコージャパン株式会社が本社事業所（社長執行役員：佐藤邦彦、本社：東京都港区）において社員向けに実施する復興応援販売会の中で販売しますのでお知らせします。

「たむらご当地スイーツ『北醇』」は、昨年3月1日に発表した「たむら<sup>やさい</sup>八彩カレー」に次いで田村市ご当地グルメプロジェクトが開発したメニュー第2弾です。田村市滝根町で生産された山ぶどう「北醇」の使用を共通ルールとし、市内3つの菓子店により計7種類開発されました。

リコージャパンは、リコー製品を中心とした商品・サービスを提供し、お客様の経営課題の解決や企業価値の向上に貢献するソリューションを提供しています。平成26年度から同27年度にかけて同社の社員は、継続して田村市都路地区におけるボランティア活動に参画してきました。今回、ボランティアで協働した田村市ご当地グルメプロジェクトに参画する都路町有志のグループ「<sup>ま</sup>愛都路の会」（会長：加藤リツ子）との縁により、同社による田村市ご当地グルメプロジェクトへの協力が実現しました。

概要は添付資料及び下記のURLをご参照ください。

<http://tamuragourmet.com/>

【本件に関する報道関係の問合せ先】  
田村市ご当地グルメプロジェクト  
事務局 吉田吉徳  
TEL：080-2815-6764  
Email：[tamuragpp@gmail.com](mailto:tamuragpp@gmail.com)

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

報道機関 各位  
プレスリリース

平成 28 年 3 月 10 日  
田村市ご当地グルメプロジェクト

ほくじゅん  
**たむらご当地スイーツ『北醇』首都圏にて初の試験販売**  
リコージャパンとの協力（第 1 弾）として 3.11 同本社にて

福島県田村市の生産者、直売所、飲食店から構成される「田村市ご当地グルメプロジェクト」（代表：箱崎哲司、以下 GGP）は、本年 3 月 1 日に発表した「たむらご当地スイーツ『北醇』」を 3 月 11 日（金）午前 11 時 30 分から午後 1 時 30 分（予定）にかけてリコージャパン株式会社が本社事業所（社長執行役員：佐藤邦彦、本社：東京都港区）において社員向けに実施する復興応援販売会の中で販売する。

「たむらご当地スイーツ『北醇』」は、昨年 3 月 1 日に発表した「たむら<sup>やさい</sup>八彩カレー」に次いで GGP が開発したメニュー第 2 弾。田村市滝根町で生産された山ぶどう「北醇」の使用を共通ルールとし、市内 3 つの菓子店により計 7 種類開発された。

リコージャパンは、リコー製品を中心とした商品・サービスを提供し、お客様の経営課題の解決や企業価値の向上に貢献するソリューションを提供している。平成 26 年度から同 27 年度にかけて同社の社員は、継続して田村市都路地区におけるボランティア活動に参画してきた。今回、ボランティアで協働した GGP に参画する都路町有志のグループ「<sup>メトロ</sup>愛都路の会」（会長：加藤リツ子）との縁により、同社による GGP への協力が実現した。

3 月 1 日の発表会において、同社東北事業本部福島支社の<sup>たじま</sup>但馬啓司・支社長から「震災から 5 年目の節目の今こそ、福島県が、そして田村市が元気になるために何かできないか考え、『北醇』の船出にささやかながら協力させていただくことになった。感想や意見を求め、次の商品づくりにも活かしていただきたい」と表明された。



握手する但馬支社長（中央右）と箱崎代表（3 月 1 日）  
左は田村市ご当地キャラ「カブトン」右は同「オリオンちゃん」



発表会で披露された「たむらご当地スイーツ「北醇」」

## ■「田村市ご当地グルメプロジェクト」とは

田村市で産出された農作物を最大限に盛り込んだメニューを市内の生産者、直売所、飲食店等が協力して開発、販売、広報することにより、農産物の消費拡大、飲食店の売上増加、田村市における食文化の発展・継承、観光交流人口の増加、ひいては田村市の活性化を目的とする。

平成 26 年 11 月 27 日、県中農林事務所の主催、田村市・三春町・小野町の協力で実施されたグリーン・ツーリズムのモニターイベント「あぶくまロマンティック紀行」における田村市パート（田村市 5 地区を代表するご当地グルメを提供）に関わったメンバーを中心に設立準備会を発足。田村市におけるご当地グルメとプロジェクトの在り方について議論を重ね、田村市合併 10 周年記念式典が行われた平成 27 年 3 月 1 日、「たむら八彩カレー」を発表した。

震災と原発事故により停滞した「市全体のまとまりと発展」を推進するため「それぞれの個性を高めながらも互いの連携を深める」プロジェクトを提案（設立趣意書※）している。

※ <http://tamuragourmet.com/prospectus/>

## ■「たむらご当地スイーツ『北醇』とは



原材料となる山ぶどう品種「北醇」とは、アムール川流域に自生する寒さに強い「アムレンシス」に欧州原産の「メイクイション」（マスカット・ハンブルグ）を交配した赤ワイン用の品種であり、しっかりした酸味と高い糖度が特徴。豊富な鉄分に加え、ポリフェノールは普通のブドウよりも多く<sup>1</sup>含まれる。田村郡滝根町（当時）は、福島県果樹試験場（当時）を通じて中国産「北醇」を導入後、昭和 63 年 6 月 15 日に「山ぶどうの里」として県から「ふくしま特産の里づくり」に指定された。以降「北醇」は、「あぶくまわいん北醇」やジャムなどとして親しまれている。

「たむらご当地スイーツ『北醇』」は、滝根町産の「北醇」を材料に、田村市内の菓子店（船引町船引「菓子工房あくつ屋」、船引町北移「菓子処 山本屋」、常葉町常葉「おおぎや和洋菓子店」）が開発し平成 28 年 3 月 1 日に発表された。

### 田村市ご当地グルメプロジェクト

代 表 箱崎 哲司（レストランドルフィン）

福島県田村市船引町五升車 65（船引駅前通り）TEL／0247-82-0679

本件連絡先 ※取材を希望される場合は、事前にご連絡のほどお願い申し上げます。

事務局（本件担当）吉田吉徳（よしだよしのり）

TEL／080-2815-6764、MAIL／[tamuraggp@gmail.com](mailto:tamuraggp@gmail.com)

Web サイト <http://tamuragourmet.com> <https://www.facebook.com/tamuragourmet/>

<sup>1</sup> 収穫年や場所によって異なる。デラウェアとの比較では 4～12 倍。